

腹腔鏡下ヘルニア根治術に必要な 手技および解剖知識の習得

解剖実習セミナーを開催します。

参加希望者は下記申込先(メール)までご連絡ください。

日時 令和4年1月15日(土曜日) 9時～16時実習

場所 岡山大学鹿田キャンパス 解剖実習室

担当講師 井谷史嗣(広島市民病院 外科主任部長)

担当講師：近藤喜太(岡山大学 消化器外科 助教)

対象：腹腔鏡下ヘルニア手術・解剖を身につけたい研修医・若手外科医

参加費：3万円 募集人数：4名 見学：5千円(若干名)

実習内容

| | | |
|---------|-------------|------------|
| 実習(11日) | 9:00～10:00 | ヘルニアの解剖・講義 |
| | 10:00～12:00 | TAPの執刀(午前) |
| | 13:00～15:00 | TAPの執刀(午後) |
| | 15:00～16:00 | 前方からの振り返り |

通常ホルマリン固定ではなく、シール(Thiel)法によって固定されたご献体での実習となります。シール法では、組織が柔らかく固定されているため、実際の手術とほとんど違和感のない感触で手術の執刀を実習することができます。

なお、COVID-19の感染拡大の状況により、セミナー自体を中止する可能性があります。緊急事態宣言対象地域(随時変更されます)からの参加は原則禁止とさせていただきます。また、参加者には事前にお送りする問診票を提出いただき、トリアージにかかる場合には参加できない可能性がありますのでご注意ください。

申込先

岡山大学病院消化器外科学 TEL: 086-235-7257

mail: tarkun1@gmail.com (担当: 近藤) 申込締切: 令和3年12月31日(金)

協賛

特定非営利法人オアシス(OASISS:岡山大学関連外科研修情報支援機構)